

2023年

8月25日(金)19:15-20:30

オンライン(ZOOM)



岡山県：笠岡諸島

島ぐらしの説明書



移住に当たっては、この「**島ぐらしの説明書**」をよくお聞きいただき、島ぐらしの魅力存分に体感してください。

1 こんな方にオススメ

- ✓ 島ぐらしに興味のある人
- ✓ 島で子育てをしている先輩移住者の話が聞きたい人
- ✓ 地方での子育てに興味がある人
- ✓ 岡山県に興味のある人
- ✓ 美しい海に囲まれた暮らしに憧れている人



2 内容

笠岡諸島の紹介	笠岡工業高校	地元の高校生が制作したPR動画「日本遺産笠岡諸島シリーズ」の上映
ゲストトーク①	ムヤ 歩 さん	大阪から白石島へ移住（子供3人の5人家族） 古民家カフェを経営
ゲストトーク②	近藤 真一郎 さん	兵庫から真鍋島に移住（子供4人の6人家族） 島でカフェを経営

3 期待される効果

島ぐらしの疑問や不安（環境、子供の生活、買い物、地域交流、食事、医療施設など）が緩和され、島ぐらしが具体化します。

4 申込方法

右のQRコードからお申し込みください。【申込期限：8月23日(水)まで】



参加
無料

スケジュール

19:00 受付開始

19:15 開 会

笠岡諸島の紹介（PR動画「日本遺産笠岡諸島シリーズ」）

<ゲストトーク>

19:25 ムヤ 歩 さん 「白石島での暮らしと子育て」

20:00 近藤 真一郎 さん「真鍋島での暮らしと子育て」

20:30 閉 会



ゲスト紹介



ムヤ 歩 さん

白石島

大阪の喧騒から離れて育児がしたいと考え、2017年に母の故郷岡山へ移住。翌年、白石島にほれ込み引っ越し。

島では、都会にはない地域の「助け合い」の文化があり、重たい荷物を一緒に運んでくれたり、子供をかわいがってくれたり、縁もゆかりもないムヤ一家を暖かく迎え入れてくれた。

夫婦で白石島国際交流ヴィラ（宿泊施設）を管理する傍ら、古民家カフェ「採食茶店Kua」で無肥料・無農薬の自家製野菜で作るヴィーガン料理を振る舞う。地域の方や来訪者の「居場所」となるようなカフェを目指している。



近藤 真一郎 さん

真鍋島

子育て世帯向けの移住先を探す中で真鍋島を知り、下見へ。その日がちょうど地元の祭りの日で、家族そろって飛び入り参加。そこで島の人たちの温かさにより心を打たれ、1か月後の2007年に兵庫県神戸市から移住。

島民みんなが知り合いで、移住前にはなかった、優雅で幸せな生き方を手に入れた。

現在は、地域に親しまれた元商店の古民家をセルフリノベーションし、屋号も引き継いで「モトエカフェ」を営んでいる。

また、情報サイト「真鍋島移住窓口」を開設し、自ら担い手世代の移住・定住にも力を注いでいる。

募集人数（要予約）

○ オンライン(ZOOM)

上限なし



申込方法

8月23日(水)までに、右のQRコードからお申し込みください。

※「利用者登録せずに申し込む方はこちら」をクリックして申込み画面にお進みください。

申込QR



お問い合わせ

岡山県県民生活部
中山間・地域振興課

☎086-226-7862

(月～金・祝日を除く)

認定NPO法人ふるさと回帰支援センター
岡山県担当アドバイザー（金子）

☎090-6344-1948（水～日）